

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 11 月 15 日 (2007.11.15)

【公開番号】特開 2002-105169 (P2002-105169A)

【公開日】平成 14 年 4 月 10 日 (2002.4.10)

【出願番号】特願 2000-294106 (P2000-294106)

【国際特許分類】

C 0 8 G 59/24 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 G 59/24

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 9 月 27 日 (2007.9.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

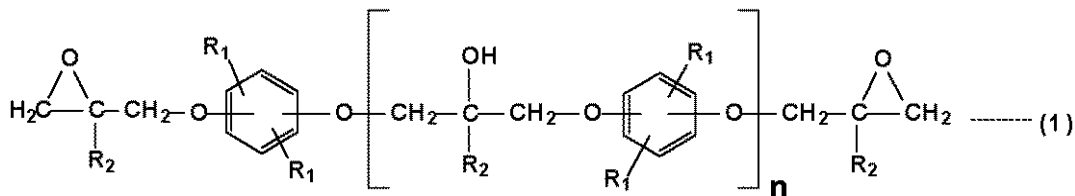
【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】 下記一般式 (1)

【化 1】



(式中、R1はターシャリーオクチル基、R2は水素原子或いはメチル基、nは0～10の整数で繰り返し単位数を表す。)

で表されるエポキシ樹脂(A)と硬化剤(B)とを必須成分とするエポキシ樹脂組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

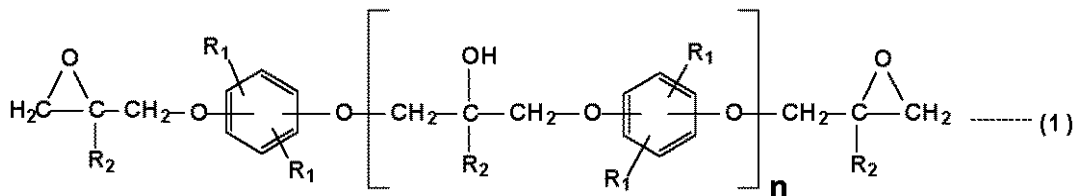
【補正の内容】

【0005】

すなわち、本発明は、

1. 下記一般式(1)

【化 3】

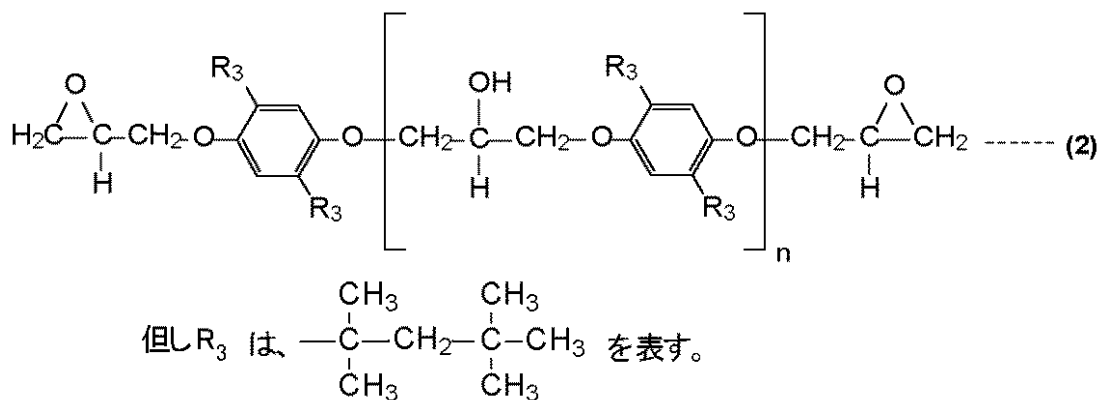


(式中、R1はターシャリーオクチル基、R2は水素原子或いはメチル基、nは0～10の整数で繰り返し単位数を表す。)

で表されるエポキシ樹脂(A)と硬化剤(B)とを必須成分とするエポキシ樹脂組成物、

2. エポキシ樹脂(A)が下記一般式(2)で表されるエポキシ樹脂である前記1記載の組成物、

【化 4】



(式中、 n は 0 ~ 10 の整数の繰り返し単位数を表す。)

3. 前記 1 または 2 記載のエポキシ樹脂組成物を硬化してなる硬化物、を提供する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

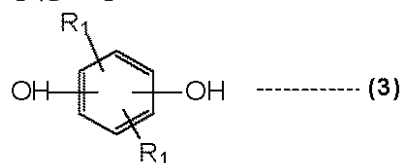
【補正の内容】

【0006】

【発明の実施の形態】

式(1)で表されるエポキシ樹脂は、例えば、下記一般式(3)

【化 5】



(式中、 R_1 はターシャリーオクチル基を表す。)

で表されるジアルキル基置換ジヒドロキシベンゼン類とエピハロヒドリンとを反応させて得ることができる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

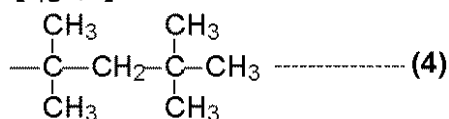
【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

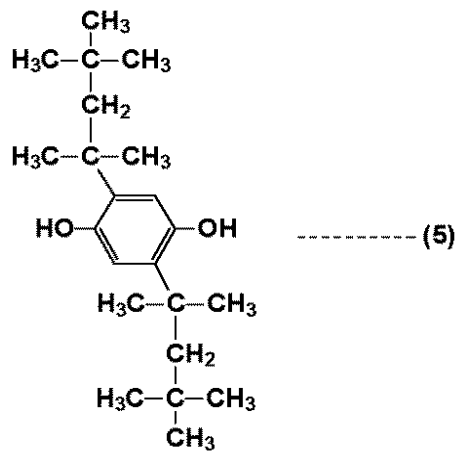
本発明に用いるエポキシ樹脂(A)は、ターシャリーオクチル基を2個結合されたジヒドロキシベンゼン類にエピハロヒドリンを反応させることによって得られる。ターシャリーオクチル基は、具体的には、下記構造式(4)

【化 6】



で表されるものである。またベースのジヒドロキシベンゼン類としては、ハイドロキノン、レゾルシン、カテコール類があるが、反応性が良いことからハイドロキノンが特に好ましい。つまりは本発明のエポキシ樹脂の原料としては下記構造式(5)

【化 7】



で表される 2 , 5 - ジターシャリーオクチルヒドロキノンが特に好ましい。